

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）の 事業実施報告（効果検証）

男鹿市 観光文化スポーツ部
男鹿まるごと売込課

1 事業名

「秋田の元気は港から！」みなと賑わい創出プロジェクト

2 実施主体

秋田県、秋田市及び男鹿市（広域連携事業）

3 事業期間及び事業費

- ・ 事業期間 令和6年4月～令和7年3月
※事業採択期間 令和4年4月～令和7年3月（3年間）
- ・ 事業費 80,932千円（うち、デジタル田園都市国家構想交付金 40,466千円）
※事業採択期間中の総事業費 252,533千円（うち、デジタル田園都市国家構想交付金 126,266千円）

4 事業の概要

- ① 港及び地域の魅力向上と受入態勢の整備
- ② 効果的なプロモーション等による認知度向上

5 令和6年度の取組状況

- ・ 道の駅おが等の男鹿駅周辺エリアにおけるイベントの開催及び開催支援による人流の創出
- ・ 地元学生（男鹿海洋高校）と連携した商品開発及び男鹿の特産品のブラッシュアップ
- ・ 観光資源の映像化等による港周辺の体験コンテンツのブラッシュアップ及び地域の魅力向上（脇本城址 VR/AR）
- ・ フォトコンテストの実施による本市の観光資源の再発見・認知度の向上

6 本事業における重要業績評価指標（KPI）及び実績（令和6年度）

KPI項目	申請時	R6目標値 (申請時比)	R6実績 (申請時比)	令和6年度 対応状況
道の駅おが入込客数（人）	446,000	506,000 (+60,000)	655,065 (+209,065)	継続

7 結果、課題と対応等

- ・ 船川港へのクルーズ船「飛鳥II」の寄港があり、港から道の駅おがまでのシャトルバス運行等を行い、港周辺の賑わいづくりに努めたほか、関係団体との連携のもと、男鹿駅周辺でのイベント開催等により地域の賑わい・人流の創出に取り組み、目標の達成につながった。
- ・ インバウンドを含めた観光需要の回復状況を踏まえ、地域一体となった付加価値の高い体験メニューの提案など、受入態勢の充実や観光資源の磨き上げによる観光客への訴求力のさらなる向上が課題となる。
- ・ 周辺自治体はもとより、DMO等の地域の民間団体との連携により、観光客のニーズの把握に努めながら、船川港のみならず県内他港に寄港したクルーズ旅客向けの着地型観光の充実と効果的なPRに取り組み、今後も船川港周辺の賑わいづくりから市内への波及につなげていく。